

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)	農林水産課	農林係	No	146
------------	-------	-----	----	-----

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	1	森林・里山環境の保全
	実施計画名		事務事業名			
	6	生活環境保全林整備事業	2	地域が育む豊かな森林づくり推進事業		

事業概要	繁茂竹林の伐採や広葉樹の植栽、野生鳥獣の隠れ家となる藪の整備など、地域づくり活動等に意欲のある集落周辺の里山林の一体的整備を行なう。	対象	集落周辺の里山林
		手段	繁茂竹林の伐採や広葉樹の植栽、野生鳥獣の隠れ家となる藪の整備を行う
		意図	地域づくり活動等に意欲のある集落周辺の里山林の一体的整備を図る。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	地域が育む豊かな森林づくり推進事業委託料	1,941,840	1,956,960	3,126,600	2,690,000
合 計		1,941,840	1,956,960	3,126,600	2,690,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金	100	1,941,840	1,956,960	3,126,600	2,690,000
		地方債					
		その他					
		一般財源					
合 計				1,941,840	1,956,960	3,126,600	2,690,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1 対象面積	活動		0.98ha	1.90ha	2.86ha	2.26ha
			0.98ha	1.67ha	2.56ha	
			100.0%	87.9%	89.5%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策	今後の方向性					
B		現在のモデル事業(平沼田)の成果を基に、他の中山間地域でも事業を行っていく必要がある。	成果 の 方向 性	拡充		④	② ✓	①
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

No 147

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全
	実施計画名		事務事業名			
	8	多面的機能推進事業	1	多面的機能支払制度		

事業概要	農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。また、担い手への農地集積等を図る。負担割合は国2/4、県1/4、市1/4。推進交付金は国100%、県を経由して市に入金。	対象	地域環境を守るための活動組織
		手段	農用地、水路、農道等の維持管理活動に対し交付金を交付する。
		意図	地域環境を守るための意識の高揚、耕作放棄地の解消、担い手への農地集積

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消耗品費	260,185	165,247	174,527	155,000
	燃料費	152,882	85,210	76,170	83,000
	印刷製本費	0	0	0	13,000
	多面的機能支払制度補助金	45,667,228	43,587,668	45,364,436	47,848,000
	償還金	119,954	0	37,779	0
合 計		46,200,249	43,838,125	45,652,912	48,099,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金	75%	34,663,421	34,663,421	34,273,327	36,135,000
		地方債					
		その他					
		一般財源		11,536,828	9,174,704	11,379,585	11,964,000
合 計				46,200,249	43,838,125	45,652,912	48,099,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.4	2,333,822		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	取組活動組織数	活動	21	21	18	19
			21	21	18	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	活動農用地面積(ha)	活動	674	675	675	695
			674	675	675	
			100.0%	100.0%	100.0%	
3						

H29 目標達成度		課題及び改善策
A	➡	

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農業委員会事務局

No 148

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全
	実施計画名		事務事業名			
	農地集積・集約化対策事業		機構集積支援事業(農地利用状況調査)			

事業概要	農地法の規定に基づき、年1回、市内全域の農地利用状況調査を実施する。結果、遊休農地と判定された農地には、耕作放棄地再生事業や耕作希望者への斡旋を行う。利用意向調査を行い、農地中間管理機構等への集積支援など、遊休農地の減少に向けた対策を講じる。	対象	市内全農地
		手段	現地調査、利用意向調査、農地中間管理機構との協議の勧告、固定資産税の課税強化
		意図	遊休農地の解消と担い手への農地集積・集約強化を促進する

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	社会保険料	249,386	235,551	346,876	249,000
	賃金等	1,402,026	1,518,876	1,852,760	885,000
	需用費	126,892	117,715	101,437	167,000
	使用料	712,800	712,800	475,200	357,000
	通信運搬費		3,404	6,644	17,000
合 計		2,491,104	2,588,346	2,782,917	1,675,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金	2,257,000	2,336,000	2,162,000	1,279,000	
		地方債					
		その他					
		一般財源	234,104	252,346	620,917	396,000	
合 計			2,491,104	2,588,346	2,782,917	1,675,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				1.6	3,874,397		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	調査筆数	活動	23,000筆	22,050筆(全筆)	農地全筆	農地全筆
			22,120筆	22,050筆	21,957筆(全筆)	
			96.2%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A		農地利用状況調査の結果、遊休農地と判定された農地の所有者に対し、毎年、利用意向調査を実施しているが、遊休農地の解消につながっていない。 今後は、農地中間管理機構とのさらなる連携を図り、担い手への情報提供に努めるとともに、推進委員等による農地パトロールも強化し、遊休農地の解消・発生防止に努める。また、利用意向どおりに解消しない遊休農地については、固定資産税の課税強化を行い、さらに、農地中間管理機構による農地中間管理権の活用などで、遊休農地対策を進める。	成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
							皆減	縮小
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係) 農業委員会事務局

No 149

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全
	実施計画名		事務事業名			
	農地集積・集約化対策事業		機構集積支援事業(農地台帳整備)			

事業概要	農地利用状況調査の結果を農地台帳システムに入力する。入力内容は調査日・利用状況・農地種別・栽培作物・農機具進入位置など多岐にわたる。当該システムは、事務局及び分局で閲覧、情報の入力・修正などができ、農地情報の共有化を図る。また、県等に報告する遊休農地	対象	市内の全農地
		手段	農地情報の入力、固定資産税課税台帳との照合
		意図	農地情報の公表と農地の利用集積・集約の促進

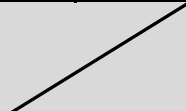
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	社会保険料	192,696	184,797	203,822	249,000
	賃金等	1,145,268	1,205,229	1,251,800	1,338,000
	システム保守・利用料	735,323	749,152	583,200	638,000
	システム開発・データー移行委託料			1,404,000	
	備品購入費		1,080,000	155,844	
合 計		2,073,287	3,219,178	3,598,666	2,225,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金		1,686,000	1,736,000	1,201,000	1,110,000
		地方債					
		その他					
		一般財源		387,287	1,483,178	2,397,666	1,115,000
合 計				2,073,287	3,219,178	3,598,666	2,225,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.95	2,904,069		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	入力筆数	活動	23,000筆	22,050筆(全筆)	農地全筆	農地全筆
			22,120筆	22,050筆	21,957筆(全筆)	
			96.2%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策					
平成29年度に導入された新農地情報管理システム(フェーズ2)が十分に活用できていない。今後は、農地法などの法定業務についても、当該システムにより処理ができるよう、機能の習熟に努め、事務の効率化を図る。								
			今後の方向性					
			成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

都市計画課

計画係

No 150

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	1	総合的な住宅政策の展開
	実施計画名		事務事業名			
11	コンパクトなまちづくりモデル推進事業		1	コーポラティブ住宅促進支援事業		

事業 概要	コンパクトなまちづくりモデル事業のモデル地区内において、コーポラティブ住宅の建設を希望する組合を支援することにより、住宅整備が促進し、まちの活性化が図られる。		対象	コーポラティブ住宅の建設を希望する組合
			手段	アドバイザーの派遣
			意図	住宅整備の促進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	アドバイザー派遣委託料		248,400	0	500,000
合 計		0	248,400	0	500,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	100%		248,400		500,000
合 計				0	248,400	0	500,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	アドバイザーの派遣回数	活動		2回 1回 50.0%	2回 0回 0.0%	2回
2						
3						

H29 目標 達成 度	D		課題及び改善策					
コーポラティブ方式は特殊な手法であるため、PRを行う。また、まちづくりの手法として、コーポラティブ方式に変わる手法を研究する。								
			今後の方向性					
			成果の方向性	拡充		④	② ✓	①
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

No 151

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
5	市営住宅の適正な管理		1	市営住宅分電盤開閉器点検		

事業概要	平成25年度に分電盤開閉器の故障により、電気製品の破損事故が発生した。経年劣化などによる緊急度の高い住宅から、業者に委託し順次点検を実施する。漏電に伴う火災発生および家電製品の破損事故発生の未然防止を図る。	対象	漏電ブレーカーが設置されている分電盤
		手段	電気事業者が行わない住宅内の機器取付状況の点検業務
		意図	市営住宅の住環境の保全と入居者等の安全確保

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	手数料	302,400	669,060	298,620	415,800
合 計		302,400	669,060	298,620	415,800

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	302,400	669,060	298,620	415,800	
合 計				302,400	669,060	298,620	415,800

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.35	2,042,095		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	点検戸数	活動	87戸	183戸	85戸	91戸
			80戸	177戸	79戸	
			92.0%	96.7%	92.9%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
B						
		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	空き家は次の入居が決まってから点検することとしている。また、契約があるものの長期に亘って不在の宅については点検ができないため、点検実績は目標の100%に至らない。
------	---

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

No 152

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
5	市営住宅の適正な管理		5	市営住宅草刈		

事業概要	市営住宅の空家、団地法面等の草刈は市住入居者又は地元自治会からの要望が強い。危険であったり機械を必要とするなど、地元や職員で対応できないところについては業者委託する。	対象	市営住宅敷地内の雑草
		手段	業者委託、職員対応
		意図	市営住宅の住環境を整備する

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	草刈等委託料	237,522	698,502	247,990	250,000
合 計		237,522	698,502	247,990	250,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	237,522	698,502	247,990	250,000	
合 計			237,522	698,502	247,990	250,000	

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.6	3,353,935		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	草刈実施箇所数	活動	13(要望数)	13(要望数)	13(要望数)	13
			13	13	13	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	実施内訳(業者委託)	活動	2	2	2	
3	実施内訳(職員対応)	活動	11	11	11	

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
A	職員の多大な労力を当該業務に充てている現状について検討の余地あり。		成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
						皆減	縮小	現状維持
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

No 153

施策 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
	5	市営住宅の適正な管理	9	市営住宅高木伐採		

事業 概要	市営住宅敷地内の高木の伐採等は市住入居者又は地元自治会からの要望が強いが、危険であったり機械を必要とするなど、地元や職員で対応できないところが多い。業者委託により緊急度の高い所から計画的に実施する。		対象	市営住宅敷地内の高木等
			手段	業者委託
			意図	市営住宅の住環境を整備する

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	草刈等委託料	832,180	698,502	291,600	250,000
合 計		832,180	698,502	291,600	250,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	832,180	698,502	291,600	250,000	
合 計			832,180	698,502	291,600	250,000	

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	高木伐採実施箇所数	活動	9(要望数)	9(要望数)	3(要望数)	2(要望数)
			9	6	1	
			100.0%	66.7%	33.3%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策	今後の方向性					
D		職員配置や予算配分に限りがあり、年度内に全ての要望には対応できていない。	成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
						皆減	縮小	現状維持
コスト投入の方向性								

特記 事項	
----------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
	5	市営住宅の適正な管理	10	市営住宅消防設備点検(臨時)		

事業概要	消防設備点検(経常)によって不具合が発見された場合に、消火器の取替え等を行う。また、3年に一度必要な、古開作第二団地連結送水管の耐圧試験を行う。	対象	消防設備によって不具合が発見されたもの
		手段	業者委託により交換等を行う
		意図	安全・安心な住宅環境を提供する

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	消火器設置(消耗品費)	244,062	201,960	239,360	239,360
	消火器処分(手数料)	63,216	74,120	101,120	101,120
	連結送水管耐圧試験(委託料)	370,872			521,640
合 計		678,150	276,080	340,480	862,120

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	678,150	276,080	340,480	862,120	
合 計				678,150	276,080	340,480	862,120

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	不適格消火器交換本数	活動	必要数	必要数	必要数	必要数
			全数	全数	全数	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

No 155

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
6	市営住宅の修繕・工事		2	市営住宅検定満期水道メーター等の取替工事		

事業 概要	計量法で定められた水道メーターの定期的な取替えを実施することによって、市営住宅の住環境を向上させるとともに毎年度実施する維持管理の適正化を図る。		対象	検定満期を迎えるメーター
			手段	業者委託による交換
			意図	住環境の向上

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	工事請負費	3,089,340	3,053,430	327,780	1,746,360
合 計		3,089,340	3,053,430	327,780	1,746,360

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	3,089,340	3,053,430	327,780	1,746,360	
合 計				3,089,340	3,053,430	327,780	1,746,360

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	検定満期を迎えるメーターの更新	活動	113	117	13	62
			113	117	13	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

No 156

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
6	市営住宅の修繕・工事		4	市営住宅給水ポンプ取替工事		

事業概要	経年劣化に伴う取替え、修繕による安全で安心な飲料水の確保による住生活環境の整備		対象	耐用年限超過した給水ポンプ		
			手段	取替え		
			意図	給水ポンプの不具合による飲料水供給停止防止		

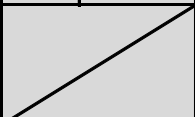
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費	13,125,240	4,334,040	4,260,600	1,031,850
合 計		13,125,240	4,334,040	4,260,600	1,031,850

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	13,125,240	4,334,040	4,260,600	1,031,850	
合 計				13,125,240	4,334,040	4,260,600	1,031,850

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.2	963,930		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	計画的に市営住宅の給水ポンプの取替えを実施する。(仮設ポンプを設置して既設ポンプを取り外し、新設ポンプを設置する。)	活動	本山団地 本山団地 100.0%	古開作団地 古開作団地 100.0%	古開作第二団地 古開作第二団地 100.0%	大河内団地
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
						皆減	縮小	現状維持
コスト投入の方向性								

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

No 157

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
	9	市営住宅屋根防水工事	1	本山団地屋根防水工事		

事業 概要	当該建築物は竣工以来30年近く防水改修工事を実施しておらず、屋根防水の劣化が著しく応急でシート撤去部分の補修を行っているがクラック発生の恐れがあり、このまま放置した場合、風による飛散や雨漏りの可能性がある。	対象	市営住宅の屋上防水(本山団地A・B・C・D・E棟)
		手段	工事による防水改修
		意図	市営住宅の安全性、機能性の確保及び計画修繕による建物の長寿命化

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	工事請負費		3,996,000	6,264,000	8,970,000
合 計		0	3,996,000	6,264,000	8,970,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	1/2		1,998,000	3,132,000	4,485,000
		県支出金					
		地方債			1,900,000	3,100,000	4,400,000
		その他					
		一般財源			98,000	32,000	85,000
合 計				0	3,996,000	6,264,000	8,970,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.3	813,395		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	防水改修工事の施工	活動		A棟	B棟	C棟
				完了	完了	
				100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性				

特記 事項	平成32年度で事業完了予定
----------	---------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
	9	市営住宅屋根防水工事	4	古開作団地屋根防水工事		

事業概要	当該建築物は竣工以来30年近く防水改修工事を実施しておらず、屋根防水の劣化が著しく応急でシート撤去部分の補修を行っているがクラック発生の恐れがあり、このまま放置した場合、風による飛散や雨漏りの可能性がある。(B棟はH21年度、A棟はH23年度、C棟はH24年度に実施済。)	対象	市営住宅の屋上防水(古開作団地D・E棟)
		手段	工事による防水改修
		意図	市営住宅の安全性、機能性の確保及び計画修繕による建物の長寿命化

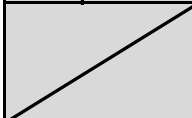
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費		6,391,440	7,009,000	
合 計		0	6,391,440	7,009,000	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	1/2		3,195,000	3,504,000	
		県支出金					
		地方債			3,100,000	3,500,000	
		その他					
		一般財源			96,440	5,000	
合 計				0	6,391,440	7,009,000	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.3	813,395		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	防水改修工事の施工	活動		D棟	E棟	
				完了	完了	
				100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
A		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	平成29年度事業完了
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

No 159

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
	12	市営住宅エレベーターリニューアル工事	1	古開作第二団地エレベーターリニューアル工事		

事業概要	当団地には2基のエレベーターがあるが、いずれも平成29年12月で部品の一部が供給されなくなり故障した場合に修繕できない可能性が出てくる。モーター、巻上機、制御盤を取り替えておく必要があると同時に、耐震性を備えたつくりリニューアルする。	対象	エレベーター2基
		手段	リニューアル工事
		意図	部品の供給停止に対応する

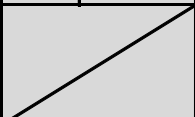
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳			12,204,000	12,204,000	
合 計		0	12,204,000	12,204,000	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	対象額の50%		5,037,000	4,030,000	
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		7,167,000	8,174,000		
合 計				0	12,204,000	12,204,000	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.2	726,517		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	リニューアル工事			H-1棟 完了 100.0%	H2棟 完了 100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策			
A					
今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	平成29年度事業完了
------	------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

No 160

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	4	公営住宅の整備と適正管理
	実施計画名		事務事業名			
14	市営住宅入居者の移転促進事業		1	漁民アパート入居者移転促進		

事業概要	市営住宅漁民アパートは借地の上に建っている。地主には、平成30年度中に更地にして返還することを約束していたところであるが、その後の協議により、同借地上の民間建築物の撤去促進を担当する農林水産課と歩調を合わせ、より時間をかけて事業を進めていくこととなった。				対象	入居者及び住棟
					手段	移転及び解体
					意図	借地返還のため

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	移転補償金			1,243,824	586,608
合 計		0	0	1,243,824	586,608

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			1,243,824	586,608	
合 計			0	0	1,243,824	586,608	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	入居者移転			8世帯	8世帯	2世帯
				0世帯	5世帯	
				0.0%	62.5%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性				
			成果	拡充	④	②	①
				現状維持	③	⑤ ✓	
				縮小	⑥		
				休廃止	⑦		
C				皆減	縮小	現状維持	拡大
				コスト投入の方向性			

特記事項	積極的な明け渡しを求めるのは中止しているが、今後移転希望者が出た時に対応するため、2世帯分を予算措置している。
------	---

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

No 161

施策 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	1	良質な居住の確保	5	住まいづくりの推進体制づくり
	実施計画名		事務事業名			
15	住宅リフォーム助成事業		1	住宅リフォーム資金助成制度		

事業 概要	リフォームを行う民間住宅の所有者に対し、山陽小野田市住宅リフォーム資金助成金交付要綱に基づき助成金を支給する。助成金の額は工事費の10%、限度額7万円で、市内業者の施工によるものに限る。				対象	自らが居住する家屋のリフォーム工事を行う家屋の所有者
					手段	市広報紙等で広く募集し、工事完了後、助成金を支給する
					意図	地域経済の活性化と住環境の向上

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	住宅リフォーム助成金	10,000,000	10,000,000	9,850,000	10,000,000
合 計		10,000,000	10,000,000	9,850,000	10,000,000

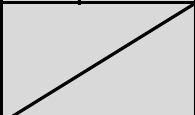
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	10,000,000	10,000,000	9,850,000	10,000,000	
合 計				10,000,000	10,000,000	9,850,000	10,000,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数 0.6	人件費(円) 1,933,065	交付税 算入	無
------	----	----	--------------	------------	---------------------	-----------	---

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	助成金額計	活動	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
			10,000,000	10,000,000	9,850,000	
			100.0%	100.0%	98.5%	
2	助成件数	活動	173	180	174	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	
B		目標はほぼ達成しているが、さらなる制度周知を図る。	

今後の方向性					
成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

都市計画課

管理緑地係

No 162

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
	実施計画名		事務事業名			
1	開設公園医事管理事業		6	江汐公園施設整備基金事業		

事業概要	将来的に必要となる、大規模な修繕や改修費用を積み立てることにより、当該年度の負担を軽減する	対象	江汐公園
		手段	毎年15000千円を積み立てる
		意図	大規模修繕、改修時の財源負担を軽減する

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	積立金	15,000,000	15,000,000	10,000,000	10,000,000
合 計		15,000,000	15,000,000	10,000,000	10,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		15,000,000	15,000,000	10,000,000	10,000,000
合 計				15,000,000	15,000,000	10,000,000	10,000,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1						
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策		今後の方向性					
		毎年一定額の積立を継続していく必要がある		成果の方向性	拡充		④	②	①
					現状維持		③	⑤ ✓	
					縮小		⑥		
					休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大	
				コスト投入の方向性					

特記事項	基金積立である為、評価指標なし
------	-----------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

No 163

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
	実施計画名		事務事業名			
	2	都市公園施設整備事業	3	浜河内緑地トイレ改修事業		

事業概要	浜河内緑地に設置されているトイレは1977年に設置され、老朽化が著しいため、トイレの更新を行い、併せて浄化槽の設置を行う。	対象	公園施設
		手段	公園施設の劣化状況に合わせ、更新や補修を行う。
		意図	公園施設の長寿命化を図り、市民が長期にわたり安全・安心して利用できる。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	調査設計委託料	2,592,000			
	工事請負費			33,382,800	
合 計		2,592,000	0	33,382,800	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金		1,120,000		10,000,000	
		県支出金					
		地方債		1,100,000		19,000,000	
		その他					
		一般財源		372,000		4,382,800	
合 計				2,592,000	0	33,382,800	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.2	1,166,911		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業の進捗	成果	100%		100%	
			100%		100%	
			100.0%		100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性								

特記事項	H28繰越明許 ¥33,382,800 平成29年度終了
------	------------------------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

都市計画課

管理緑地係

No 164

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
	実施計画名		事務事業名			
4	大規模公園環境美化事業		1	大規模公園環境美化事業		

事業概要	竜王山公園、若山公園、江汐公園、物見山公園のソメイヨシノは、近年、テングス病に感染した桜が目立つようになっている。よって、テングス病感染部の枝を切除するとともに、テングス病が重症化したソメイヨシノについては、伐採し、テングス病に強い品種の桜に更新する。	対象	大規模な都市公園			
		手段	テングス病感染枝の切除と重症化したソメイヨシノは伐採し、テングス病に強い品種の桜に更新する。			
		意図	樹木の適切な管理を行う。			

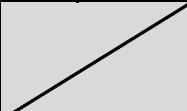
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	公園管理委託料	2,754,000	4,039,200	2,818,800	2,000,000
	工事請負費			1,384,560	
合 計		2,754,000	4,039,200	4,203,360	2,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと	1,231,200	1,384,560		
		一般財源	2,754,000	2,808,000	2,818,000	2,000,000	
合 計				2,754,000	4,039,200	4,202,560	2,000,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.2	1,166,911		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	テングス病に感染した樹木の枝打ち・強剪定・伐採本数	活動	45	15	9	10
			45	15	9	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	植え替えた桜の本数	活動		15	17	0
				15	17	
				100.0%	100.0%	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
A		大規模公園を中心に都市公園内に植樹しているソメイヨシノは多くが植樹から50年近く経過しており、テングス病などに感染しているものが多い。特に、竜王山公園は桜の名所として、春には県内外から多くの見物客が訪れる貴重な観光資源である。テングス病は放置していると重篤化、感染拡大が懸念されるため、年次的な処置を続けて行くことが必要である。	成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性						

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

No 165

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	2	緑地の保全
	実施計画名		事務事業名			
6	緑地保全事業		2	街路樹剪定事業		

事業 概要	道路の通行及び沿線住民の生活に支障のないよう、街路樹(高木、低木)の剪定を行う。 毎年剪定: 県道3路線、市道7路線 3年～4年毎に剪定: 市道12路線	対象	街路樹
		手段	街路樹の剪定を行う。
		意図	街路樹の適切な管理を行う。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	街路樹管理委託料			13,596,066	13,602,000
	公園管理委託料	11,591,640	14,098,200		
合 計		11,591,640	14,098,200	13,596,066	13,602,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	ふるさと支援基金				1,000,000
		一般財源		11,591,640	14,098,200	13,596,066	12,602,000
	合 計			11,591,640	14,098,200	13,596,066	13,602,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数 0.3	人件費(円) 1,750,367	交付税 算入	無
------	----	----	--------------	------------	---------------------	-----------	---

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	高木剪定本数	活動	555	563	539	520
			555	563	539	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	低木・交通障害(路線数)	活動	15	15	15	15
			15	15	15	
			100.0%	100.0%	100.0%	
3						

H29 目標 達成 度	A	課題及び改善策		今後の方向性								
A		街路樹は、景観の形成や来訪者の印象だけでなく、市民の日常生活にも深く関わっている。街路樹が路面を冷やし、緑陰を提供するなど、人々の暮らしに不可欠な存在になっている一方、落葉のシーズンには、落葉の処理など沿線の市民には大きな負担となっている。そのため、実施路線を選定し目標樹形の設定を行い、年次的に良好な維持管理を行なっていく必要がある。		成果 の 方向 性	拡充		④	②	①			
					現状維持		③	⑤	✓			
					縮小		⑥					
					休廃止	⑦						
					コスト投入の方向性							
						皆減	縮小	現状維持	拡大			

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

都市計画課

管理緑地係

No 166

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	3	緑化の推進
	実施計画名		事務事業名			
6	緑地保全事業		4	支障樹木剪定伐採事業		

事業概要	都市公園他市有地内にある樹木が生長し、隣接地(民家)にとって支障となることを防ぐため、適宜剪定、伐採を行う。	対象	市有地境界にある樹木
		手段	樹木の剪定、伐採
		意図	隣接地の支障となることを防ぐ

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	公園管理委託料			764,520	1,614,000
合 計		0	0	764,520	1,614,000

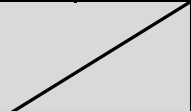
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			764,520	1,614,000	
合 計			0	0	764,520	1,614,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.05	291,728		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	剪定伐採処理件数	活動			6	
					6	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策
A		これまで、公園内の樹木の伐採は緑化形成を保持していくとの目的から、積極的には実施していないが、植樹から40年以上経過している樹木も多く、隣接地の社会生活について支障となっているものについては、随時処分していく必要がある。

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	3	緑化の推進
	実施計画名		事務事業名			
		都市緑化推進事業		全国都市緑化やまぐちフェア(愛称:山口ゆめ花博)市町連携事業		

事業概要	平成30年9月14日(金)から11月4日(日)に開催される「第35回全国都市緑化やまぐちフェア」にて、山口県の自然、歴史などの価値を再発見し、その魅力を全国に発信するため、県下が一致して参加する市町連携事業が実施されることから、本市の魅力を最大限に発揮できる事業を実施する。	対象	市民
		手段	連携イベント等の実施
		意図	都市緑化の推進を図るとともに県内外に本市の魅力を紹介する

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	通信運搬費				300,000
	市町実施事業委託料				200,000
	合同参加事業負担金				1,900,000
	市町実施事業補助金				1,500,000
合 計		0	0	0	3,900,000

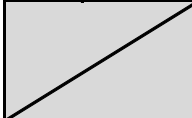
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他				2,700,000	
		一般財源				1,200,000	
合 計				0	0	0	3,900,000

会計種別	一般	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
			0.7	4,084,189		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	イベント実施(連携会場含む)	活動			2	3
					2	
					100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策	
			山口ゆめ花博の成功に向け、全庁が一致した協力が必要。またこれを契機とし、市内観光施設の集客を図る。	

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	平成29年度0予算
------	-----------

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
	9	下水道整備事業	1	下水道整備事業(汚水)		

事業概要	平成25年度に国土交通省により、今後10年程度を目途に汚水処理の概成を目指した各種汚水処理施設の整備計画の策定と実施が提案された。本市においても計画的に汚水管渠整備を推進し、普及率の向上に努める。	対象	汚水管渠
		手段	汚水管渠の整備
		意図	安全で快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	調査設計委託料	24,231,960	30,149,128	17,166,600	40,400,000
	計画策定委託料			11,006,000	
	工事請負費	560,939,506	401,800,120	253,178,630	403,222,440
	補償金	35,067,892	13,139,948	1,689,600	30,742,835
合 計		620,239,358	445,089,196	283,040,830	474,365,275

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	249,832,320	178,978,860	110,057,440	174,752,560
		県支出金					
		地方債	補助90%、単独95%	346,300,000	251,700,000	149,000,000	275,600,000
		その他	受益者負担金	6,103,812	11,895,296	23,983,390	14,458,000
		一般財源	繰入金	18,003,226	2,515,040	0	9,554,715
合 計				620,239,358	445,089,196	283,040,830	474,365,275

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				3.05	17,795,396		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	普及率	成果	52.60%	53.10%	53.60%	54.10%
			52.60%	53.10%	53.60%	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A	➡	課題及び改善策	今後の方向性					
			山陽小野田市汚水処理施設整備構想に示されたアクションプランに基づき、平成37年度末までに汚水処理の概成を目指すためにも、より一層の整備が必要である。	成果の方向性	拡充		④	②	①
現状維持		③			⑤				
縮小		⑥							
休廃止	⑦								
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
		コスト投入の方向性							

特記事項	H29年度繰越明許予算:144,557,720円(計画策定委託料:11,006,000円、工事請負費:133,551,720円) H30年度繰越明許予算:106,965,275円(工事請負費:101,222,440円、補償金:5,742,835円)
------	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
	9	下水道整備事業	3	下水道整備事業(長寿命化)		

事業概要	山陽小野田市公共下水道長寿命化計画に基づき、老朽化した污水管渠を計画的に改築する。		対象	下水道管渠
			手段	下水道管渠の改築・更新
			意図	管渠の維持管理による快適な生活環境の確保と水質の保全

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	調査設計委託費		4,946,400	0	
	工事請負費		12,852,000	0	4,000,000
合計		0	17,798,400	0	4,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合交付金		8,899,000	0	2,000,000
		県支出金					
		地方債	補助90%		8,009,000		1,800,000
		その他	受益者負担金				200,000
		一般財源	繰入金		890,400		
合 計				0	17,798,400	0	4,000,000

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.1	583,456		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	長寿命化詳細設計	活動	詳細設計	詳細設計		
			中止	完了		
				100.0%		
2	長寿命化工事	活動		1件	工事	工事
				1件	中止	
				100.0%	0.0%	
3	ストックマネジメント策定	活動				ストマネ策定

H29 目標 達成 度		課題及び改善策		今後の方向性				
D		管渠の長寿命化工事については、平成29年度に実施する計画であったが処理場の改築事業に事業費が必要となり予算が確保できなかったため、実施時期の見直しを行い平成30年度に実施する。	成果の方向性	拡充		④	②	① ✓
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
	9	下水道整備事業	4	下水道整備事業(小野田西地区接続)		

事業概要	平成27年度に実施した汚水処理施設整備構想の見直しの結果、小野田西地区農業集落排水処理施設は隣接する公共下水道へ接続する方が、経済的に有利と判定されたため、小野田西地区農業集落排水処理場を廃止し、その管路を公共下水道に接続する。	対象	小野田西地区農業集落排水処理施設		
		手段	汚水処理施設整備構想の見直しに基づき、全体計画。事業計画を変更し、公共下水道に接続する。		
		意図	処理場の維持管理費を削減する。		

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	計画策定委託料		4,600,000	0	
	調査設計委託料				1,600,000
合計		0	4,600,000	0	1,600,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合交付金		2,300,000	0	800,000
		県支出金					
		地方債	補助90%				700,000
		その他					
		一般財源	繰入金		2,300,000		100,000
合 計				0	4,600,000	0	1,600,000

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.75	4,375,917		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	農集の接続検討と全体計画、事業計画、都市計画認可の変更	活動		30%	100%	
				30%	100%	
				100.0%	100.0%	
2	詳細設計	活動				1件
3	集落排水接続工事	活動				

H29 目標 達成 度	A	➡	課題及び改善策		今後の方向性				
			平成29年度に全体計画、事業計画、都市計画事業認可の変更作業が完了したため、今年度は計画どおり詳細設計を実施する。	成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
現状維持		③	⑤		✓				
縮小		⑥							
休廃止	⑦								
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
				コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
	11	汚水処理施設整備事業	2	小野田水処理センター整備事業(長寿命化)		

事業概要	小野田水処理センターは、昭和56年に供用開始し、施設の経年劣化が認められる。それらの老朽化した施設を、山陽小野田市公共下水道長寿命化計画に基づき、計画的に改築・更新をする。	対象	小野田水処理センター
		手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新及び未整備施設の整備を行う。
		意図	良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進する。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費	156,738,400	144,180,000	274,979,880	120,000,000
	調査設計委託料	2,985,120	19,656,000	16,794,000	30,000,000
合 計		159,723,520	163,836,000	291,773,880	150,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	83,468,960	89,127,000	155,234,340	81,000,000
		県支出金					
		地方債	補助90%	68,600,000	67,200,000	122,400,000	62,100,000
		その他	受益者負担金	7,419,760	3,788,991	3,440,923	
		一般財源	繰入金	234,800	3,720,009	10,698,617	6,900,000
合 計				159,723,520	163,836,000	291,773,880	150,000,000

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.35	2,042,095		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	山陽小野田市下水道長寿命化計画(小野田水処理センター)	活動		詳細設計	詳細設計	ストマネ策定
				完了	完了	
				100.0%	100.0%	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備施設整備工事	活動	4件	1件	1件	1件
			4件	1件	3件	
			100.0%	100.0%	300.0%	
3	耐震補強工事	活動			1件	
					1件	
					100.0%	

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
	長寿命化計画に基づき効率的に事業を実施する。		成果の 方向性	拡充		④	②	①
A	➡			現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
						皆減	縮小	現状維持
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

下水道課

工務係

No 172

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
11	汚水処理施設整備事業		9	山陽水処理センター整備事業(長寿命化)		

事業 概要	山陽水処理センターは、平成元年に供用開始し、施設の経年劣化が認められる。それらの老朽化した施設を、山陽小野田市公共下水道長寿命化計画に基づき、計画的に改築・更新をする。	対象	山陽水処理センター
		手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新及び未整備施設の整備を行う。
		意図	良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進する。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	計画策定委託料	5,090,000			
	工事請負費			9,936,000	240,000,000
	調査設計委託料			3,811,000	
合 計		5,090,000	0	13,747,000	240,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	2,545,000		7,369,800	132,000,000
		県支出金					
		地方債	補助90%			5,700,000	97,200,000
		その他	受益者負担金				3,501,000
		一般財源	繰入金	2,545,000		677,200	7,299,000
合 計				5,090,000	0	13,747,000	240,000,000

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				H27	H28	H29	H30
1	山陽水処理センター長寿命化計画	活動	基本計画		詳細設計	詳細設計	ストマネ策定
			完了		完了	完了	
			100.0%		100.0%	100.0%	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備施設整備工事	活動				1件	1件
						1件	
						100.0%	
3							

H29 目標 達成 度	→	課題及び改善策	今後の方向性						
A		長寿命化計画に基づき効率的に事業を実施する。	成果 の 方向 性	拡充		④	②	①	
				現状維持		③	⑤	✓	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
				コスト投入の方向性					

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

下水道課

工務係

No 173

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
11	汚水処理施設整備事業		10	下水道ポンプ場整備事業(小野田処理区)		

事業 概要	下水道ポンプ場(小野田処理区)は、平成8年に供用開始し、施設の経年劣化が認められる。それらの老朽化した施設を、山陽小野田市公共下水道長寿命化計画に基づき、計画的に改築・更新をする。	対象	高千帆汚水中継ポンプ場、竜王汚水中継ポンプ場
		手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新を行う。
		意図	汚水中継ポンプ場の機能を維持し、汚水の停滞を防ぐ。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	計画策定委託料	3,912,000			
	調査設計委託料		0	3,363,000	
	工事請負費		0	20,464,000	67,433,200
合 計		3,912,000	0	23,827,000	67,433,200

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合負担金	1,956,000	0	11,314,320	34,316,280
		県支出金					
		地方債	補助90%			11,200,000	29,800,000
		その他	受益者負担金	1,956,000	0	0	
		一般財源	繰入金			1,312,680	3,316,920
合 計				3,912,000	0	23,827,000	67,433,200

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.15	875,183		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	下水道ポンプ場(小野田処理区) 長寿命化計画	活動	基本計画	詳細設計	詳細設計	ストマネ策定
			完了	完了	完了	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備 施設整備工事	活動		1件	1件	1件
				1件	1件	
				100.0%	100.0%	
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
A	長寿命化計画に基づき効率的に事業を実施する。		成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					コスト投入の方向性			
皆減	縮小	現状維持			拡大			

特記 事項	H29年度繰越明許予算:8,964,000円(工事請負費:8,964,000円) H30年度繰越明許予算:17,433,200円(工事請負費:17,433,200円)
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

下水道課

工務係

No 174

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	1	公共下水道整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
11	汚水処理施設整備事業		11	下水道ポンプ場整備事業(山陽処理区)		

事業 概要	下水道ポンプ場(山陽処理区)は、平成6年に供用開始し、施設の経年劣化が認められる。それらの老朽化した施設を、山陽小野田市公共下水道長寿命化計画に基づき、計画的に改築・更新をする。	対象	厚狭汚水中継ポンプ場
		手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新を行う。
		意図	汚水中継ポンプ場の機能を維持し、汚水の停滞を防ぐ。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	計画策定委託料	3,958,000			
	調査設計委託料			1,844,000	
	工事請負費		3,500,000	5,356,000	50,000,000
合 計		3,958,000	3,500,000	7,200,000	50,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	1,979,000	1,750,000	3,600,000	25,000,000
		県支出金					
		地方債	補助90%			3,200,000	22,500,000
		その他	受益者負担金	1,979,000	1,750,000	0	
		一般財源	繰入金			400,000	2,500,000
合 計				3,958,000	3,500,000	7,200,000	50,000,000

会計種別	特会(下水)	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	下水道ポンプ場(山陽処理区)長 寿命化計画	活動	基本計画	詳細設計	詳細設計	ストマネ策定
			完了	完了	完了	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備 施設整備工事	活動		1件	1件	1件
				1件	1件	
				100.0%	100.0%	
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
A	長寿命化計画に基づき効率的に事業を実施する。		成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
				皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性						

特記 事項	H29年度繰越明許予算:5,356,000円(工事請負費:5,356,000円)
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

下水道課

工務係

No 175

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	4	下水道の整備	3	浄化槽整備の推進
	実施計画名		事務事業名			
13	浄化槽整備推進事業		1	浄化槽整備推進事業		

事業 概要	汚水処理を早期に実現するには、浄化槽の設置は有効な手段であり、助成制度は今後も継続する必要がある。浄化槽の設置基数についても、地域計画に基づく基数の確保が必要である。	対象	浄化槽設置者
		手段	浄化槽設置に対する補助金の交付
		意図	浄化槽の維持管理による快適な生活環境の確保と水質の保全

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	浄化槽設置整備事業補助金	30,202,000	26,766,000	15,886,000	31,686,000
合 計		30,202,000	26,766,000	15,886,000	31,686,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	循環型社会形成推進交付金	10,562,000	10,067,000	9,717,000	5,135,000
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		19,640,000	16,699,000	6,169,000	26,551,000
合 計				30,202,000	26,766,000	15,886,000	31,686,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費 概算	人工数 0.8	人件費(円) 2,231,868	交付税 算入	有
------	----	-------	--------------	------------	---------------------	-----------	---

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	循環型社会形成推進地域計画に基づく浄化槽設置基数の確保	活動	85基	85基	85基	85基
			83基	72基	43基	
			97.6%	84.7%	50.6%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性				
C	年々設置台数が減少してきている。今後も広報を通じて補助金制度の呼びかけを続けていく。		拡充		④	② ✓	①
			現状維持		③	⑤	
			縮小		⑥		
			休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持
コスト投入の方向性							

特記 事項	
----------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

No 176

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
11	道路新設改良事業		2	市道新生町1号道路改良工事		

事業 概要	当路線は、幅員2m程度の生活道路で車の離合ができな いなど日常生活に支障をきたしているため、道路を拡幅 する。 延長L=567m 幅員W=6.0m	対象	道路利用者
		手段	用地買収ののち拡幅工事
		意図	道路利用者の利便性の向上

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	工事請負費	4,056,080		0	8,196,519
	公有財産購入費			0	6,564,641
	補償補填及び賠償金				1,000,000
合 計		4,056,080	0	0	15,761,160

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	55	1,681,000			8,168,000
		県支出金					
		地方債	40	1,200,000		6,200,000	
		その他					
		一般財源	5	1,175,080		1,393,160	
合 計				4,056,080	0	0	15,761,160

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.2	1,166,911		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業費進捗率(事業費ベース)	活動	71	71	75	85
			71	71	71	
			100.0%	100.0%	94.0%	
2	事業費進捗率(単年度ベース)	活動	3		4	11
			3		0	
			100.0%		0.0%	
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
D	事業を繰り越した。		成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
							皆減	縮小
コスト投入の方向性								

特記 事項	H29→30 繰越額 工事請負費 196,519円
	H29→30 繰越額 公有財産購入費 5,564,641円

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
	11	道路新設改良事業	3	市道浜崎1号線道路改良事業		

事業概要	当路線は、国道190号と埴生市街地を結ぶ重要な路線であり、前場川の拡幅に併せて道路を拡幅し歩道を設置する。 延長L=170m 幅員W=10.0m 片側歩道	対象	道路利用者
		手段	県へ工事委託
		意図	歩行者の安全と道路利用者の利便性の向上

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事委託料	15,872,000		30,700,000	51,300,000
合 計		15,872,000	0	30,700,000	51,300,000

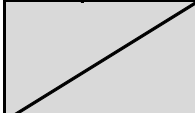
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	55	8,729,000		16,885,000	28,215,000
		県支出金					
		地方債	40	6,400,000		12,400,000	20,700,000
		その他					
		一般財源	5	743,000		1,415,000	2,385,000
合 計				15,872,000	0	30,700,000	51,300,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業費進捗率(事業費ベース)	活動	33	33	57	57
			33	33	43	
			100.0%	100.0%	75.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	B		課題及び改善策	
			山口県が工事を繰り越したため。	

今後の方向性					
成 果 の 方 向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	前場川周防高潮対策工事(市道前場川左岸線、市道浜崎1号線、市道栗坪下市線)の協定書に基づき、県へ工事委託している。平成35年度に事業完了の予定 H29→30 繰越額 51,300,000円
------	---

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

No 178

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
11	道路新設改良事業		4	市道中村線道路改良事業		

事業 概要	当路線は、別府八幡宮から市道有帆大休線を結ぶ生活道路ですが、幅員が狭く離合が困難であり雑排水が路面を流れ不衛生であるため、道路側溝を整備し離合箇所を設ける。 延長L=400m 幅員W=5.0m 側溝設置	対象	道路利用者
		手段	用地買収ののち離合箇所設置及び側溝新設
		意図	道路利用者の利便性の向上

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	工事請負費	14,604,840	7,794,360	11,904,840	
	公有財産購入費	157,942			
	補償金		213,146		
合 計		14,762,782	8,007,506	11,904,840	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	55	8,066,000	4,400,000	6,512,000	
		県支出金					
		地方債	40	5,900,000	3,100,000	4,700,000	
		その他					
		一般財源	5	796,782	507,506	692,840	
合 計				14,762,782	8,007,506	11,904,840	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	有
				0.35	2,042,095		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業進捗率(事業費ベース)	成果	23	52	100	
			23	53	100	
			100.0%	102.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策
A	➡	

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記 事項	平成29年度で事業完了
----------	-------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

No 179

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
12	橋りょう修繕保全事業		1	橋梁長寿命化点検事業		

事業概要	橋梁の点検は、道路の維持修繕に関する省令及び告示(平成26年7月1日施行)に基づき、5年に1回の頻度を基本に点検し、その健全性を診断する必要がある。平成21年、22年で橋梁点検を行って「山陽小野田市橋梁長寿命化修繕計画」を策定しており、これに基づき定期点検を行う必要がある。	対象	橋長2.0m以上の橋梁(228橋)、横断歩道橋(2橋)、合計230橋			
		手段	道路橋定期点検要領による			
		意図	計画的な橋梁修繕及び橋梁耐震化実施のため			

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	委託料	10,006,692		19,488,600	20,000,000
合 計		10,006,692	0	19,488,600	20,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	55	5,503,000		10,718,400	11,000,000
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	45	4,503,692		8,770,200	9,000,000
合 計				10,006,692	0	19,488,600	20,000,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	委託点検橋梁数(橋)	活動	11	0	49	2
			11	0	49	
			100.0%		100.0%	
2	職員点検橋梁数(橋)	活動	34	42	32	39
			34	42	32	
			100.0%	100.0%	100.0%	
3						

H29 目標 達成 度	→	課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の 方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤	✓
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

No 180

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
12	橋りょう修繕保全事業		2	円人道跨線橋(市道旦東線)修繕事業		

事業概要	当該橋梁は、JR小野田線を跨ぐ人道橋だが、建設後約100年が経過し老朽化が進行しているため、JRに委託して修繕と耐震補強を行う。	対象	市道旦東線(円人道跨線橋)
		手段	修繕及び耐震補強
		意図	橋梁の長寿命化、耐震補強

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事委託料			52,700,000	79,000,000
合 計		0	0	52,700,000	79,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	55			28,985,000	43,450,000
		県支出金					
		地方債	40			21,300,000	31,900,000
		その他					
		一般財源	5			2,415,000	3,650,000
合 計				0	0	52,700,000	79,000,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業費ベース(%)	成果	6	6	44	100
			6	6	44	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	→	課題及び改善策	今後の方向性					
A			成果の方向性	拡充		④	②	①
			現状維持		③	⑤	✓	
			縮小		⑥			
			休廃止	⑦				
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

特記事項	平成30年度で事業完了の予定
------	----------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
	12	橋りょう修繕保全事業	2	第二高千帆橋(市道上木屋梅の木線)修繕事業		

事業概要	当該橋梁は、建設後約60年が経過し老朽化が進行している上、耐震性が不足しているため、修繕と耐震補強を行う。	対象	市道上木屋梅の木線(第二高千帆橋)
		手段	修繕及び耐震補強
		意図	橋梁の長寿命化、耐震補強

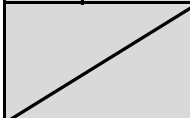
歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費		23,400,000	38,339,280	
合計		0	23,400,000	38,339,280	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	55		12,870,000	19,370,000	
		県支出金					
		地方債	40		9,600,000	14,300,000	
		その他					
		一般財源	5		930,000	4,669,280	
合 計				0	23,400,000	38,339,280	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	事業費ベース(%)	成果	64	98	100	
			64	98	100	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策		
今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	平成29年度で事業完了 H28→29 繰越額 35,272,080円
------	---------------------------------------

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

管理係

No 182

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
13	市道管理事業		3	道路環境整備事業		

事業 概要	市道を適正に維持管理することにより、市民生活の利便性、交通の安全性を向上させるため除草等を行う。	対象	市道敷
		手段	除草及び清掃を行う
		意図	安全確保及び環境保全を図る

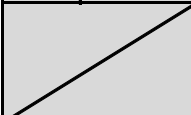
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	委託料	14,406,160	14,379,000	17,069,660	18,992,000
合 計		14,406,160	14,379,000	17,069,660	18,992,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	14,406,160	14,379,000	17,069,660	18,992,000	
合 計				14,406,160	14,379,000	17,069,660	18,992,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	路面清掃(自治会)委託路線(本)	成果	32	32	34	36
			32	32	34	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	草刈面積(m ²) (業者委託)	成果	70,000	70,000	70,000	70,000
			68,080	59,625	66,170	
			97.0%	85.0%	94.0%	
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策	今後の方向性					
B		市道の草刈りについては、予定している面積が実施できていないのが現状である。	成果の方向性	拡充		④	②	① ✓
				現状維持		③	⑤	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
					皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性								

特記 事項	
----------	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
	15	市道維持修繕事業	3	市道舗装リフレッシュ事業		

事業概要	大型車の交通量が多い幹線道路は、舗装の痛みが激しくクラックや轍ができているため、切削オーバーレイによる舗装のリフレッシュを石油貯蔵施設立地対策交付金を活用して行う。	対象	交通量が多い幹線道路
		手段	舗装補修及び側溝補修
		意図	通行車両の安全性および快適性の向上

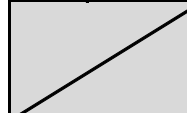
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費	17,426,826	50,789,160	40,284,000	65,000,000
合 計		17,426,826	50,789,160	40,284,000	65,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金	98	16,511,000	49,396,000	39,510,000	56,373,000
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	2	915,826	1,393,160	774,000	8,627,000
合 計				17,426,826	50,789,160	40,284,000	65,000,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.65	3,792,461		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	舗装リフレッシュ路線(路線数)	成果	1	1	1	1
			1	1	1	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策				
A		今後の方向性				
成果の 方向性	拡充		④	②	①	
	現状維持		③	⑤ ✓		
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
		皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

河川港湾係

No 184

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	1	生活道路の整備
	実施計画名		事務事業名			
16	小規模土木事業		1	小規模土木事業		

事業概要	生活に密接する公共性の高い道路、水路等を整備する自治会に補助金を交付する。 事業費限度額:200万円 補助率:70%		対象	市民(自治会)
			手段	自治会の事業を審査し、補助金を交付
			意図	市民の生活環境の向上を図る

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	小規模土木事業助成金	41,321,000	38,101,000	32,536,000	48,400,000
合 計		41,321,000	38,101,000	32,536,000	48,400,000

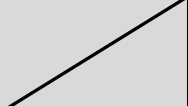
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	41,321,000	38,101,000	32,536,000	48,400,000	
合 計				41,321,000	38,101,000	32,536,000	48,400,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.7	4,084,189		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	実施件数(件)	活動	74	42	63	-
2						
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策

今後の方向性					
成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	平成27年度受付分までは補助率80%
------	--------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	2	地域公共交通の利用促進
	実施計画名		事務事業名			
	1	生活交通推進事業	1	JR美祢線利用促進事業		

事業概要	JR美祢線の利用促進を図るため、本市と長門市、美祢市で協同してJR美祢線利用促進協議会を設置し、美祢線を活用した観光事業の実施や企画列車等のイベント、利用助成事業などを行う。		対象	JR美祢線利用促進協議会
			手段	JR美祢線利用促進協議会負担金の支出
			意図	JR美祢線の利用促進

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	JR美祢線利用促進協議会負担金	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000
合 計		1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	
合 計				1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	JR美祢線の協議会事業による利用者数(三市協議会の目標)	成果	150人/日	180人/日	180人/日	185人/日
			154人/日	167人/日	134人/日	
			102.7%	92.8%	74.4%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	➡	課題及び改善策	今後の方向性						
B		JR美祿線は、平成22年7月の豪雨災害により大きな被害を受け全線不通となった。被災当初は運転再開が危惧されていたが、JRの懸命な復旧作業により、翌年9月に運転を再開することができた。今後の利用促進を図るため、本市と美祿市、長門市の沿線3市が中心となり協議会を立ち上げ、美祿線を活用した観光事業の展開や、各種利用助成事業などを実施しているが、利用者の減少傾向が続いている。今後は、観光面での更なる集客に注力するとともに既存事業の充実を図り、目標の達成に努める。	成果の方向性	拡充		④	②	①	
				現状維持		③	⑤	✓	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大		
				コスト投入の方向性					

特記事項	毎週末(土・日)に、JR西日本が「幕末ISHIN号」の運行している。また、平成30年度は、山口ゆめ花博をはじめ、明治150年に関連した各種観光大型キャンペーンの開催も計画されており、新たな観光ツアーの造成など昨年度にも増して観光利用に注力していく。
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

商工労働課

交通政策係

No 186

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	2	地域公共交通の利用促進
	実施計画名		事務事業名			
1	生活交通推進事業		2	JR小野田線利用促進事業		

事業概要	JR小野田線の利用促進を図るため、本市の市民団体や学校関係者等からなるJR小野田線利用促進協議会を設置し、利用促進に向けた協議を行うほか、利用助成制度などを行う。				対象	JR小野田線利用促進協議会
					手段	JR小野田線利用促進協議会補助金の交付
					意図	JR小野田線の利用促進

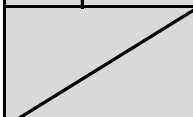
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	JR小野田線利用促進協議会補助金	94,700	58,100	61,860	300,000
	JR小野田線100周年記念事業分	499,681			
合 計		594,381	58,100	61,860	300,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	594,381	58,100	61,860	300,000	
合 計				594,381	58,100	61,860	300,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	JR小野田線利用促進協議会の開催	活動	1回	1回	1回	1回
			1回	1回	1回	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2	JR小野田線の日当たりの乗降者数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	520
			475	515		
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策		今後の方向性						
A		JR小野田線は、平成24年春のダイヤ改正で大幅な減便があり、今後の利用促進を図るために協議会を設置し事業を展開している。近年、利用者の数は微増傾向にあるが、小野田線沿線の大型商業施設や公立化した山口東京理科大学との連携など、今後における更なる利用促進の余地を研究していく必要がある。 平成29年度は、利用助成事業の実施により利用促進を図るとともに、スマホスタンプラリーなど隣接する宇部線の利用促進協議会とも協同し、市内線の更なる利用促進に努めた。今後も事業周知に努め、JR小野田線の更なる活性化に努める。		成果の方向性	拡充		④	②	✓	①
					現状維持		③	⑤		
					縮小		⑥			
					休廃止	⑦				
				皆減	縮小	現状維持	拡大			
コスト投入の方向性										

特記事項	山口東京理科大学公立化の影響もあり、近年の利用は増加傾向にある。
------	----------------------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	5	生活交通の充実	2	地域公共交通の利用促進
	実施計画名		事務事業名			
	1	生活交通推進事業	13	デマンド型交通運営事業		

事業概要	厚狭北部地域の27自治会の住民を対象に、H27年1月からデマンド型交通(予約型乗合タクシー)を導入し、交通不便地域の解消を図り、市民の生活交通手段の確保に努めている。	対象	厚狭北部の市民
		手段	厚狭北部を2エリアにわけて、自宅と厚狭駅周辺の目的地をつなぐ輸送サービスを実施する。
		意図	日常生活における交通手段の確保

歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	デマンド型交通運行业務委託料	5,989,638	5,931,040	6,279,614	6,451,000
合計		5,989,638	5,931,040	6,279,614	6,451,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他	656,000	1,058,000	1,066,000	1,058,000	
		一般財源	5,333,638	4,873,040	5,213,614	5,393,000	
合 計			5,989,638	5,931,040	6,279,614	6,451,000	

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				0.25	1,458,639		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	一日当たりの乗車人数	成果	33人	22人	22人	22人
			18.4人	19人	20.7人	
			55.8%	86.4%	94.1%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性				
	B	➡	成果の 方向性	拡充		④	②
現状維持					③	⑤	
縮小					⑥		
休廃止				⑦			
			皆減	縮小	現状維持	拡大	
			コスト投入の方向性				

利用者の多くが高齢者且つ固定傾向にあるため、入院や施設入所等による不在が利用者数の減少に大きく影響してくる。事業の周知を継続し、新規利用者の掘り起こしに努める必要がある。

平成29年度は、デマンド型交通運行业事業者との意見交換会等を通じて把握した利用者ニーズを運行内容に反映し、個人病院への乗り入れを開始した。今後は、引き続き利用者ニーズを把握し、より利便性の高い運行ダイヤの設定など、更なる利用促進に努めるとともに、必要に応じた対象エリアの拡大や交通空白地域への新規導入について検討していく。

特記事項	平成30年3月時点の登録者数:275人
------	---------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	ごみ処理体制の充実
	実施計画名		事務事業名			
	25	ごみ処理施設維持整備事業	1	山陽処分場浸出水処理施設改修事業		

事業概要	山陽処分場内にある浸出水処理施設が平成23年6月に故障し保健所から指導を受けた。その後、整備を継続しているが、法令等を遵守するため、施設への取付道路工事を実施したのち調整池補修工事に取りかかり改善を行っていく。	対象	山陽処分場浸出水処理施設及び調整池
		手段	施設への取付道路工事及び調整池補修工事
		意図	山陽処分場浸出水処理施設の適正な維持管理

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	調査設計委託料			1,836,000	
	工事請負費		14,560,560		10,814,000
合 計		0	14,560,560	1,836,000	10,814,000

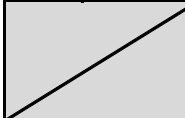
歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	75%	10,900,000		8,100,000	
		その他					
		一般財源		3,660,560	1,836,000	2,714,000	
合 計				0	14,560,560	1,836,000	10,814,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				1.3	7,584,923		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	山陽処分場浸出水処理施設への取付道路	活動		取付道設置 完了 100.0%		
2	山陽処分場調整池補修	活動			調査設計 完了 100.0%	調整池補修工事
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策	
			平成29年度に施設の設計委託業務を執行した。 平成30年度には改修工事を実施する予定である。	

今後の方向性					
成果の 方向性	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤ ✓	
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

環境課

環境衛生センター

No 189

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	ごみ処理体制の充実
	実施計画名		事務事業名			
26	塵芥収集車等車両更新事業		1	塵芥収集車等車両更新事業		

事業概要	老朽化した塵芥収集車等車両を、機能・用途等を勘案しながら計画的に更新する。	対象	塵芥収集車等
		手段	塵芥収集車等の更新
		意図	塵芥収集車等の車両の適正化

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	機械器具費	5,378,400	9,424,512	10,044,000	28,000,000
	保険料	96,414	121,615	4,314	
	自動車重量税	25,000	42,500		
合 計		5,499,814	9,588,627	10,048,314	28,000,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	75%	4,000,000	7,000,000	7,500,000	21,000,000
		その他					
		一般財源	1,499,814	2,588,627	2,548,314	7,000,000	
合 計				5,499,814	9,588,627	10,048,314	28,000,000

会計種別	一般	経常・臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.9	5,251,100		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	塵芥収集車等車両更新台数	活動	4台	2台	1台	1台
			2台	2台	1台	
			50.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	A		課題及び改善策		今後の方向性				
ごみ収集に用いる塵芥車両等は10年を経過すると修繕料が嵩む傾向にあり、また故障、事故等の危険性も増大する。そのため、老朽化した車両は経年順に更新する計画を立てているが、使用頻度の状況にもより、計画に沿った状況にならない面がある。パッカー車のみならず、ダンプやユニック車、特殊車両などがあるため、原則計画に基づくが、より効果のある更新を心がけるようにしなければならない。			成果の方向性	拡充	④	②	①		
				現状維持	③	⑤	✓		
				縮小	⑥				
				休廃止	⑦				
			皆減	縮小	現状維持	拡大			
コスト投入の方向性									

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

環境課

小野田浄化センター

No 190

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実
	実施計画名		事務事業名			
28	小野田浄化センター維持整備事業		3	小野田浄化センター定期整備事業		

事業概要	小野田浄化センターに設置されている機械設備等の整備は、市民生活に影響を及ぼさないためにも万全に実施される必要がある。定期的に分解整備(予防保全)を行うことによりリスク回避し施設の安定稼動を担保する。	対象	小野田浄化センター
		手段	定期的な分解整備
		意図	小野田浄化センターの安定稼動(予防保全)

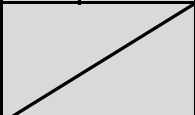
歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	修繕料	3,693,600	11,031,120	7,698,240	6,612,840
合 計		3,693,600	11,031,120	7,698,240	6,612,840

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	3,693,600	11,031,120	7,698,240	6,612,840	
合 計				3,693,600	11,031,120	7,698,240	6,612,840

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.3	1,750,367		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	小野田浄化センター機械設備の分解整備	活動	1機	5機	5機	2機
			1機	5機	5機	
			100.0%	100.0%	100.0%	
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性						
A		稼動開始後29年が経過し、機械設備の老朽化のため故障等の不具合が頻発している。市民生活に影響を及ぼすことのないよう、施設を安定稼動させるためには定期的な分解整備が必須である。そのため、適正な予算措置がとられる必要がある。	成果の方向性	拡充		④	②	①	
				現状維持		③	⑤	✓	
				縮小		⑥			
				休廃止	⑦				
							皆減	縮小	現状維持
コスト投入の方向性									

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

土木課

管理係

No 191

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	3	産業廃棄物処理対策の促進
	実施計画名		事務事業名			
17	最終処分場管理事業		2	有帆緑地処分場整備事業		

事業 概要	満杯になる平成29年度まで建設残土等を安定的に受け入れるため、搬入状況に応じて土堰堤築造及び竖排水設置をする。また、処理場の閉鎖に伴う土壌試験等を実施する。	対象	処分場周辺住民及び公共事業発注者
		手段	処分場の整備
		意図	環境悪化の防止

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出 内訳	工事請負費	4,693,680	5,940,000	2,556,360	
	調査委託料			3,499,200	
合 計		4,693,680	5,940,000	6,055,560	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		4,693,680	5,940,000	6,055,560	
合 計				4,693,680	5,940,000	6,055,560	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費 概算	人工数	人件費(円)	交付税 算入	無
				0.2	1,166,911		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	年間搬入量(t)	活動	39021	30807	6261	
2						
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策	今後の方向性					
		成果 の 方向 性	拡充		④	②	①
		現状維持		③	⑤		
		縮小		⑥			
		休廃止	⑦				
			皆減	縮小	現状維持	拡大	
		コスト投入の方向性					

特記 事項	平成29年度で受け入れを完了している。処分場については、平成30年度より都市計画課に移管する。目標を定めることがそぐわない事業。
----------	--

実施 体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	4	斎場・霊園の整備
	実施計画名		事務事業名			
20	新火葬場建設事業		1	新火葬場建設事業		

事業概要	昭和55年に建設された小野田・山陽両斎場とも築30年以上が経過しており、施設の老朽化が著しい状況である。合併特例債を活用して、小野田・山陽両斎場を統合し、新しい火葬場を建設する。。平成29年度は、建築主体・電気設備・機械設備等の工事に着手した。	対象	新火葬場
		手段	合併特例債を利用し、2箇所の斎場を統合し、新しい火葬場を建設する。
		意図	老朽化している施設を更新するとともに、両斎場を統合することにより、効率的な運営を図る。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	工事請負費	0	79,300,000	379,586,000	860,575,000
	委託料(施工監理等)	3,055,960	55,485,000	10,262,000	28,532,000
	消耗品費	0	0	313,509	645,000
	工事請負費(繰越分)	0	0	56,123,360	0
	その他	12,016,400	8,573,680	0	13,089,000
合 計		15,072,360	143,358,680	446,284,869	902,841,000

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					0
		県支出金					0
		地方債	95%	14,100,000	118,800,000	423,600,000	839,900,000
		その他	まちづくり魅力基金		11,000,000		4,000,000
		一般財源		972,360	13,558,680	22,684,869	58,941,000
合 計				15,072,360	143,358,680	446,284,869	902,841,000

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	有
				2.05	10,965,539		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1 事業の進捗状況	活動	用地購入等	地質調査・実施設計・造成工事	建築工事等	建築工事等	建築工事等
		計画どおり	計画どおり	計画どおり	計画どおり	計画どおり
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2						
3						

H29 目標 達成度	課題及び改善策		今後の方向性					
			成果の方向性	拡充		④	②	①
				現状維持		③	⑤ ✓	
				縮小		⑥		
				休廃止	⑦			
A					コスト投入の方向性			
					皆減	縮小	現状維持	拡大

特記事項	H28からH29に造成工事費56,123,360円を繰り越している。
------	------------------------------------

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	3	環境保全対策の推進	2	環境監視体制の充実
	実施計画名		事務事業名			
	5	環境・公害監視事業	2	環境・公害監視事業(騒音測定研修)		

事業概要	市内協定締結企業を中心に工場からの大気・水質・騒音及び振動について調査している。また、市内の大気や水質等の状況についても環境基準の適合状況を調査している。近年、騒音・振動に関する業務等が増加傾向にあり、職員自らが測定する機会が増えている。また、騒音は苦情等においても、問題事案として年々増加している。これらを踏まえ、研修を通じて職員の資質向上を図るため実施したい。	対象	市内全域及び市内主要事業所		
		手段	騒音・振動調査		
		意図	規制基準・環境基準を超えないよう監視する		

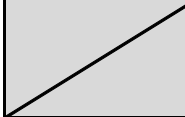
歳出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	普通旅費	0	0	44,260	44,260
合計		0	0	44,260	44,260

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	0	0	44,260	44,260	
合 計				0	0	44,260	44,260

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.7	2,682,925		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	大気、水質、騒音等の定期調査箇所数	活動	(随時) 203箇所/年間	(随時) 201箇所/年間	(随時) 227箇所/年間	(随時)
2	大気、水質、騒音等の苦情件数	成果	(随時) 46件/年間	(随時) 42件/年間	(随時) 43件/年間	(随時)
3						

H29 目標 達成 度		課題及び改善策		今後の方向性				
		近年、全国的に騒音問題の相談があるが、エコ給湯などの低周波問題は、感じ方に個人差があり、対応が非常に難しい案件である。当市においては、低周波を測定する機器を揃えていないこともあり、今後も対応方法についての知識を習得する必要がある。		成果の方向性	拡充		④	②
現状維持		③	⑤		✓			
縮小		⑥						
休廃止	⑦							
		皆減	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

特記事項	
------	--

平成29年度 事務事業評価シート

課・局・室・所(係)

環境課

環境調査センター

No 194

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	3	環境保全対策の推進	2	環境監視体制の充実
	実施計画名		事務事業名			
	2	環境監視関連設備整備事業	1	分析機器等の計画的更新等		

事業概要	計画的に機器の更新又は点検・修繕をする。		対象	環境調査センターの老朽化した機器
			手段	更新又は定期点検・修繕
			意図	分析業務に支障が出ないようにする。

歳 出		H27	H28	H29	H30
		決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
支出内訳	備品購入費	0	14,256,000	9,855,810	0
	廃棄物処分委託料	0	37,424	27,000	
	普通旅費		38,900	66,040	
	修繕料	226,800	0	0	
	消耗品費	119,124	0	0	
合 計		345,924	14,332,324	9,948,850	0

歳 入				H27	H28	H29	H30
				決算額(円)	決算額(円)	決算額(円)	予算額(円)
財源内訳	割合	国庫支出金					0
		県支出金					
		地方債					
		その他	JKA補助金	9,208,800	6,393,600		
		一般財源	345,924	5,123,524	3,555,250		
合 計				345,924	14,332,324	9,948,850	0

会計種別	一般	臨時	H29人件費概算	人工数	人件費(円)	交付税算入	無
				0.35	2,042,095		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			H27	H28	H29	H30
1	更新機器台数	活動	0	2台	2台	0
			0	2台	2台	
			-	100.0%	100.0%	
2	点検・修繕機器台数	活動	1台	0	-	0
			1台	0	-	
			100.0%	-	-	
3						

H29 目標 達成 度	課題及び改善策		今後の方向性					
A	法定測定義務や突発調査の対応業務に支障が生じないよう、計画的な機器の更新、修繕及び財政措置が必要である。		成果の方向性	拡充		④	②	①
			現状維持		③	⑤	✓	
			縮小		⑥			
			休廃止	⑦				
					皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性					

特記事項	機器を更新する際は、補助金制度をなるべく活用する。
------	---------------------------